

とのまるくん
(ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

「とのまる通信」

第25号
2005・10・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

台風シーズン真っ最中！ 豊岡市の洪水被害から学ぼう。



昨年10月に到来した台風23号で、市街地の約90%が水に浸かり、死者7名、重軽傷者51名、床上床下浸水合わせて約6000世帯という大きな洪水被害に見舞われた豊岡市。一年経った今でも、土砂災害の復興作業が行われている。豊岡市といえば、県境を越えた隣の県。もう少し、台風の進路が西よりだったら、私たち鳥取市が豊岡市と同様の洪水被害にあっていたかも知れません。そこで今回は、豊岡市の洪水被害から水害について学び、台風シーズン真っ最中の今、改めて水害に備えるべく、特集しました。

兵庫県円山川右岸が水に浸かった時の様子。(平成16年10月21日撮影)
写真：国土交通省豊岡河川国道事務所・豊岡市役所提供



豊岡市役所総務部 中川茂部長さん(右)と総務課消防防災係 宮田素係長さん(左)からお話を伺いました。

旧豊岡市街地の約90%が浸水！

「まずは、台風23号による被災後、全国から支援物資や義援金をいただき、また、12,000人もボランティアの方がかけつけてくださり、復興の手伝いをしていただきました。鳥取からも多くのご支援をいただきました。まずはこの場をお借りして、お礼を申し上げます。その折は本当にありがとうございました！」

豊岡市は、過去に何度も床上浸水程度の洪水被害を受けていたので、私たち市役所職員や市民の方も、今回も



豊岡市は県境を越えてすぐ隣の市です。

“たいした事はないだろう”と軽く考えていたと思います。しかし、台風が最も接近した18時から21時というわずか3時間で、過去に例をみないほどの勢いで急に水位が上昇し、円山川とその支流である出石川、稲葉川などで25ヶ所の越水(川の水が堤防を越える事)となり、夜中の1時過ぎには、円山川の2ヶ所と出石川の1ヶ所ですべて破堤(堤防の一部が壊れる事)しました。旧豊岡市の市街地の約90%が水に浸かり、辺り一面泥水におおわれました。

道がゴミでいっぱい！
それに、みんな泥だらけ！



これほど大きな木が根こそぎ倒れ、押し流されるとは！洪水の威力を痛感した光景。



全国から届けられた支援物資の数々。



水に浸かりゴミと化した家中の品を、道路へ出すため、道路がゴミでいっぱいとなりました。

洪水被害の水が引いた



避難所自体が浸水した所も多く、1箇所に集中して避難した地区もありました。

2階まで浸水し、屋根に避難！

破堤後、5メートル以上浸水し、2階の押し入れや、屋根の上に避難されていた方も多数おられました。

このような方をすぐにでも救助しなければいけないのですが、市が所有している救命ボートを事前に地区に配備できていなかったため、地区の消防団も動けませんでした。また、国もすぐに自衛隊を派遣してくださったのですが、夜中だった事と悪天候だったため、隣町の日高町で足止めとなり、翌朝からの救助となりました。

防災無線が心の支えに！

電気は地域的に停電となり、テレビからの情報も得られない。携帯も一時回線が集中し不通となったり、

電池が切れたりして使えず、連絡を取る手段がない。真夜中のため、辺りの様子もわからない…。救助を待っている人は、不安と緊張と疲労とで、大変な思いをされました。そんな中、唯一心の支えとなったのが、時折防災無線から聞こえてくる中貝豊岡市長の声だったようです。

しかし、たいていの家が、防災無線を1階の居間に設置されているため、2階まで水が上がって来た家は、防災無線も機能を果たさず、完全に孤立した状態となりました。

ボランティアの方々に感謝！

さて、翌朝から本格的に救助が始まった訳ですが、まず最初にどの地区の誰が何人取り残されているのかを把握し、人命救出を急ぎました。近畿や岡山から消防の応援隊や、国から自衛隊、全国から一般の方々がボランティアとしてかけつけてくださったので、とても助かりました。

そこで、災害後3日目にはボランティアセンターを立ち上げ、地区住民の要望に確実に応え、かつ、ボランティアの人も充分に活動してい

ただける体制を整えました。具体的には…どんな物資が何個、どこに必要なかを把握し、確実に届けたり、土砂や家財道具の撤去作業をする人を、どの地区へ何人派遣すればいいのかなど、地区の要望内容を聞きながら、人を割り振ったりするわけです。このボランティアセンターがうまく機能したおかげで、効率良く復旧作業が進みましたし、ボランティアの方々から、復興への元気と勇気をもらいました。

街はゴミだらけ！

水が引いた後、一番何に困ったかと言うと…ゴミと土砂の撤去に困りました。衣類や家具、電化製品、畳に至るまで、全て泥まみれで使い物になりませんから、みんな家の外に出す訳です。そしたら、あっという間に道路がゴミの山となって、人が通るのがやっとの状態。結局、この洪水被害で出てきたゴミの総量は、豊岡市の約1年分でしたね！豊岡市だけでは処分できないで、神戸や大阪にもご協力いただき、今年の5月末、約10ヶ月かかってやっと、処分し終えたところです。



床下の泥を取り除いている様子。



流された車が、折り重なっている様子。



全国から延べ12,000人ものボランティアの人たちが、災害復旧を手伝っていただきました。



真の恐ろしさは、後もしばらく続く...



木がなぎ倒され、土砂災害も起こった現場。

【1-3ページの洪水被害写真全て豊岡市役所提供】

甚大な被害の数々！

この23号台風がもたらした被害は甚大なもので、死者7名、負傷者51名、道路の損壊454箇所、河川の損壊1,045箇所、山・崖崩れは640箇所にも及び、約1年経った今でも家の修理を行い、生活再建しておられる方々がおられ、我々も土砂災害の復旧作業を続けております。



台風23号の勢力を振り返る！

20日17時紀伊水道付近における台風23号のデータ

- 進行方向と速度:北東50km/h
- 中心気圧:960ヘクトパスカル
- 中心付近の最大風速:40 m/s
- 時間雨量:円山川上流で20~35mm

事前に台風情報をチェックし、防災に努めましょう！

豊岡市さんから

鳥取市民のみなさんへのアドバイス

- 自分たちの町は自分たちで守ろう！**
県や市など、役所だけの対応には限界があります。各自治会やリーダーを集め、定期的に研修するなど、地域の防災組織を強化して、自分たちの町は自分たちで守りましょう！
- 日頃から、近所付き合いを大切にしましょう！**
いざ！という時に助けてくれるのは、ご近所の皆さんです。日頃からあいさつを交わしたり、公民館活動に参加するなど、近所の人との結びつきを深めましょう。
- どこに避難場所があるのか、事前に知っておきましょう！**
避難場所自体が浸水する場合もあるので、事前に避難場所を数箇所調べておきましょう。
- 避難場所に行くルートを確認しておきましょう！**
自分の住んでいる所をよく知り、避難場所に行くルートを何本か作っておきましょう。
- 過去の災害をお年寄りの方から聞こう！**
過去の災害経験をお年寄りから聞き、情報を共有する事で、災害時に危険な箇所や、身を守るすべを知る事ができます。



殿ダムができると

大雨が降った時には、いったんダムに水を貯え、徐々に川へ流すことができるので、洪水被害を軽減できます。仮に台風23号による円山川豪雨が鳥取で降っていた場合、殿ダムができていたら、袋川の水位を約50cm程度国府町宮下地区において抑えることができるので、より安心した暮らしができるようになります。

楠城橋が10月31日完成します！



吉永豊工事長



普含寺より鳥取市国府町楠城集落を望んだ風景。(平成17年9月11日撮影)

殿ダム工事が始まる前の楠城橋は、車1台しか通行できず、車がすれ違う際、橋のたもとでどちらかが待機し、ゆずりあいながら通行していました。

殿ダムができると満水時、旧楠城橋の位置まで水がくるため、この度橋の位置を高くし、片側1車線と歩道のついた横幅約10m、長さ約200mの大きな橋へと付替ました。大きな橋のため、ダム事業のシンボリックな橋となり、観光資産としても重要な位置付けとなる事が期待されています。

工事を行った株式会社安部工業所の工事長、吉永豊さんに、どのような特徴のある橋なのか伺いました。

「楠城橋は『コンポ橋』という工法で造りました。これは、現場で桁を造らず、工場で造った桁を現場に運び、つなぎ合わせて1本の橋げたにする工法です。この工法の良い点は3つあります。1.工期を短縮できる事。2.安全に作業ができる事。3.コンクリートのゴミが出ず、環境に良い事です。

その他、『高炉スラグ』と言って、鉄筋を造る時に出てくる産業廃棄物をコンクリートに入れ込んだ“桁”や“PC板”(橋の床面に敷く材料)を使っています。こうする事により、産業廃棄物の量が減ると同時に、コンクリートの耐久性も増して、一石二鳥なんですよ！

このように、環境に配慮しながら造った橋ですから、汚さず大切に使ってくださいね！」

殿ダム NEWS

成器わくわく探検隊！

夏のビッグイベント『わったいな！いきいき成器総寄り愛』が7月30日、旧成器小学校のグランドを中心に行われ、そのイベントの一貫として、仮排水路トンネル内の壁に思い思いの書き込みを行う『成器わくわく探検隊』を行いました。

参加人数は約90人！絵を書く人も入れば、名前や殿ダムに対する思いを書いてくれた人もいます。この後、トンネルの壁面にコンクリートを吹き付けるため、書き込みは見えなくなりますが、みんなの心の中に残るといいな！

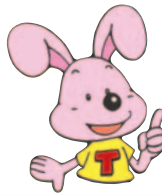


トンネル壁面に書き込みを行っている様子



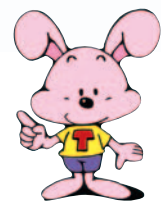
仮排水路トンネル前に集まった参加者たち。

殿ダムはあなたのそばでつくっています！



殿ダムは、鳥取市国府町の殿付近に建設しています。

JR鳥取駅から**殿ダム**建設予定地まで車で約**30分**(約14km)
市内から意外と近い殿ダム建設予定地。一度立ち寄ってみてください。



現在進めている工事紹介

現在、付替道路工事を中心に工事を進めております。



殿ダム拾石地区県道付替(その7)工事
県道の付替工事です。現在は準備段階です。



殿ダム楠城橋上部工事
4ページでも紹介していますが、10月末に完成となります。



殿ダム河川付替(その1)工事
現在流れている河川を、ダム工事のために事前に横に切りかえる工事です。現在は準備段階です。



殿ダム仮排水路工事
本体施工時に河川が遮断されるため、仮の排水トンネルを造っています。



殿ダム地区県道付替(その5)工事
県道(殿地区)の付替工事です。大きな盛土の施工を行っています。



殿ダム神護橋上部工事
鋼製の桁をかける工事です。10月中旬より桁をかけていきます。



殿ダム神護1号橋床版工事
左写真①及び上写真②の橋について、床版というコンクリート(舗装の下面となる部分)の施工を行います。

第14回わじっ子倶楽部が開催されました！

8月21日、鳥取市国府町^{わじ}上地集落で、第14回わじっ子倶楽部が開催され、大根の収穫とヤマメのつかみ捕りが行われました。標高約600m付近にある畑で立派に育った大根は、お土産に1人3本持ち帰れるとあり、みんな品定めに余念がありません。また、ヤマメのつかみ捕りは川で行われず、道路で行うのが上地流。小さな子供でも安全かつ、楽しく魚を捕まえる事ができ、子供たちは大喜び。ヤマメを捕った後は、地元のおばちゃんが作った山菜料理や、捕りたてのヤマメを焼いて食べるなど、楽しい思い出いっぱい作れるイベントでした！



わあー
待ってくれえー

ヤマメ！

大きいなっ！

川でヤマメを捕まえると思いきや、道路で魚をつかまえるとは驚きです！この発想、冬の期間、除雪と凍結防止策として、上地集落では上の写真のように道路に水を流す事から出てきたアイデアだそうです。みんな大はしゃぎ！



お問い合わせ先：中河原郵便局 TEL:0857-58-0001

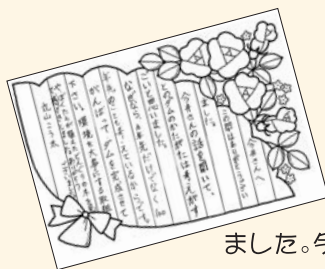


殿ダム NEWS

国府東小学校5年生から 殿ダム見学についての感想文をいただきました！

国府東小学校5年生20名が、一日移動教室として殿ダムについて学習されました。殿ダムを造る目的や概要の説明後、実際現場を見てもらいながら、なるべく自然を壊さないように最小限の工事を行っている事や、土がむき出しになった場所に、どんぐりなどを植樹して緑を増やしている事などをお話しました。

後日、中林義一校長先生をはじめ、生徒さんからお礼のお手紙をいただきました。その中から、2人の手紙をご紹介します。



丸山こう太さん

からいただいた手紙

この間はありがとうございました。今井さん(工務課長)の話聞いて、とのダムの方がたは考えがすごいと思いました。なぜなら、10年先だけでなく、100年先のことも考えているからです。がんばってダムを完成させて下さい。

環境を大事にする取り組みや、ほくたちが植えたトングリの木を見て感激しました。ありがとうございました。



中山紗希さん

からいただいた手紙

先日は、まことにお世話になりました。私は最初ダムはその地いきの方にとって、少し「いやなこと」だと思いました。しかし、最初に「説得」をされて「移転」までされたとのこと。「ダムを作ります。しかし、そのむずかしい移転などは、こちらにおまかせください」という、ダムだけがよい、の考えではなく、その「移転」をしてくださる方のことまで考えておられるのが心に残りました。

そして、水力発電もできることが初めて分かりました。私が知っているのは、原し力発電ですが、その原し力発電は、とてもかん境によくないそうです。しかし、水力発電は、水で発電するのでかん境、安全にいいと聞きました。

この工事は木を切ってしまうけど、その分植樹したりみんなのために、とてもすごいダムを作ったりするのだなあと思いました。本当にありがとうございました。



殿ダムの現場見学や、ダムについて学習を希望される方は、お気軽にお電話ください！職員が対応させていただきます。

訂正：とのまる通信24号にて、当事務所長 金山義延の名前のふりがなが間違っていました。正しくは、かなやまよしのぶです。訂正致します。

お問い合わせ & 便利のあて先

国土交通省
中国地方整備局 殿ダム工事事務所
とのまる通信編集部
〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1221
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>



大豆インクを使用しています



再生紙を使用しています